

ネットコンファレンスの日時、説明者他：

日時	2024年5月15日 15:30～16:30
説明者	代表取締役専務執行役員 CFO 中島 一
説明資料	2023年度決算の概要 及び 2024年度業績予想の概要

Q&A

■ ライフ&ヘルスケア・ソリューションセグメント

Q1. ライフ&ヘルスケアソリューションの23年度4Q（1-3月）のコア営業利益が100億円を超える高水準となった理由を説明して欲しい。一方、23年度下期から24年度上期にかけて減益となる理由を説明してほしい。

A1. 4Qはビジョンケアでの在庫調整からの回復に加え、農薬の国内需要期であることから主に販売数量の増加により増益となりました。23年度のビジョンケアは上期在庫調整による減販を下期に取り戻せなかったものの需要は回復しており、24年度は再び成長を見込んでおります。農薬は在庫調整の影響を乗り越えて海外を中心に伸びました。24年度も引き続き需要は堅調と見込んでおりますが、国内需要期が下期であるため、下期から上期にかけて減益となる見込みです。

Q2. ライフ&ヘルスケアソリューションは23年度下期から24年度下期にかけて、ビジョンケア、農薬、オーラルケア等の拡販により数量増に加え、不織布も23年度はJV立ち上げ時の一過性の費用等が発生したと考えられることから、24年度は更なる増益が期待できる環境だと思いが、コア営業利益が微増の為、減益要因があれば説明して欲しい。

A2. 農薬は23年度下期から24年度下期にかけて数量増加を見込んでいますが、研究開発費・登録維持費をはじめとした資源の投入も着実に行っていく計画としています。ビジョンケアは販売数量増加を見込んでいますが、増販に対応するために新プラントを稼働させていることから固定費の増加も見込んでいます。オーラルケアは過去と比較して収益性が改善してきているものの、24年度に大きな増益は見込んでいません。不織布事業は値上等による収益性の改善を計画しているものの、おむつ向けなどの衛生材料を中心に厳しい需給環境が続いており、24年度に大きな増益は見込んでいません。

Q3. ライフ&ヘルスケアソリューションの農薬について、23年度のテネバナルは販売堅調、ジノテフランは在庫調整の影響を受けていたと認識しているが、足元の環境について説明して欲しい。

A3. ジノテフランは23年度在庫調整の影響を受けていました。24年度の販売は堅調を見込んでおります。テネバナルは上市から日が浅いため23年度も販売は拡大しました。24年度もさらに販売を拡大する計画です。

Q4. ライフ&ヘルスケアソリューションのビジョンケアについて、北米における販売の状況を説明して欲しい。

A4. 北米向けではコストコへの販売を継続しており、コストコ自体が北米でのシェアを拡大していることから、当社のMRを使ったレンズの販売数量も増加しています。コストコ以外でもオンライン眼鏡チェーン向けも含めて販売数量を拡大していきます。

■ モビリティソリューションセグメント

Q5. モビリティソリューションが23年度3Q（10-12月）から4Q（1-3月）にかけて増益となった理由を説明して欲しい。

A5. 太陽電池封止材向け需要が堅調を継続していることからタフマーを中心にエラストマーの数量が増加しました。またソリューション事業も、ARRK社の受注が回復してきていることに加え、従来から4Qに売上が集中する傾向にあることから、大幅ではないが増益となりました。さらには為替の影響に加えてPPコンパウンドの交易条件が改善しています。

Q6. モビリティソリューションの24年度予想がグローバルの自動車生産台数が横ばいの見込みに対して販売数量が増加する理由を説明して欲しい。また、エラストマーの交易条件悪化について説明して欲しい。

A6. 最も大きく数量が増加するのはエラストマーで、太陽電池封止材向けを中心にタフマーの需要堅調により数量増を見込んでいます。24年度は自動車生産台数が大きく増加する環境ではないと想定していますが、特にPPコンパウンドで当社が強みを持つ地域である北米、日本ではしっかりと販売を伸ばしていけると考えています。タフマーの太陽電池封止材向け需要は拡大していますが、競合の大型増強が24年度に計画されていることから一時的に需給が緩むと考えており、その影響を交易条件の悪化として織り込んだ計画としています。

Q7. モビリティソリューションのタフマーについて、中国におけるソーラーパネルの在庫調整の状況をどのように考えているのか説明して欲しい。また、シンガポールでの新プラントはいつ頃の稼働開始を予定しているのか説明して欲しい。

A7. 太陽電池封止材向けの需要は今後も堅調に推移すると考えていますが、ソーラーパネルの在庫の動きに対しては引き続き注視していきます。シンガポールでの増強は順調に進めており、24年度内に完工し、営業運転開始は25年度を計画しています。

Q8. 米国が中国製ソーラーパネルに対する関税を強化することのタフマーへの影響について説明して欲しい。

A8. 米国の中国製品に対する関税強化は、タフマーに限らず関連する製品でサプライチェーンの変化による影響を受ける可能性があるため、変化に対して確実に対応していく必要があると考えており、今後の動きを注視していきます。

■ ICTソリューションセグメント

Q9. ICTソリューションが23年度3Q（10-12月）から4Q（1-3月）にかけて減益となった理由を説明して欲しい。また、4Qが前回予想から減益となった理由を説明して欲しい。

A9. 4Qは包装フィルムやコーティング機能材において原料価格上昇による交易条件が悪化したことに加えて、賦課金影響による固定費増加があり減益となりました。前回予想に対しては、主に固定費の増加や需要回復遅れによりアペルが低稼働となったことにより減益となりました。

Q10. ICTソリューションが23年度から24年度予想にかけて増益となる要因を各製品の動きを中心に説明して欲しい。

A10. 増益は主に数量増加によるものです。EUVペリクルについては販売の拡大を計画しています。イクロステップは23年度下期から需要が回復しており、24年度も数量増を見込んでいます。アペルはスマートフォン需要の回復が遅れているものの23年度からは緩やかな回復を見込んでいます。加えてコーティング機能材がモノマテリアル包材向けの需要堅調により数量増を見込んでいます。

Q11. EUVペリクルについて23年度の販売状況を説明して欲しい。また、24年度は対前年でどの程度の成長を計画しているのかについて、透過率改善や採用拡大の状況を含めて説明して欲しい。

A11. 23年度の売上収益は対前年で3割増となりました。24年度も全般的にお客様での需要が増えてきており、それに伴って販売を拡大していくことで、対前年で5割程度の増加を計画しています。透過率の改善については特にCNTベースのペリクルの開発を加速させていきます。

■ ベーシック&グリーン・マテリアルズセグメント

Q12. ベーシック&グリーンマテリアルズが23年度から24年度にかけて増益となる内訳について説明して欲しい。また、23年度及び24年度予想の在庫評価損益について説明して欲しい。

A12. 主に23年度在庫評価損解消により+30億円、23年度トラブル影響解消により+30億円、値上げ効果により+80~90億円程度の改善を計画しています。ナフサ価格の変動により23年度は上期△60億円、下期+35億円、年間△25億の在庫評価損益が発生しました。24年度は上期に+5億円程度の在庫評価益を見込んでいます。

Q13. B&GMが23年度から24年度にかけて計画している値上による交易条件の改善はどの程度の確度なのか

現時点での進捗を説明して欲しい。また、足元からさらに需給環境が悪化するリスクについてどのように考えているのか説明して欲しい。

A 13. ポリオレフィンを中心とした値上については今年の1月から打ち出しており、お客様との交渉を開始しています。すでに受け入れていただいているお客様もあり、全体的な方向性としては値上げに対するご理解をいただける環境と認識しています。基礎化学品やポリウレタンの製品についても国内で値上げを進めていきます。需給の見込みに関しては、24年度も厳しい環境が継続すると考えており、23年度のトラブル影響の解消により、24年度のクラッカーの稼働率は改善するものの、80%程度を見込んでいます。さらに需給が悪化するリスクがないとは言い切れませんが、24年度はすでに低稼働を前提とした計画となります。

Q 14. ベーシック&グリーンマテリアルズの24年度予想はクラッカーの稼働率が上がらないなか23年度から固定費他が悪化する見通しとなっているため、さらにコストダウンを推進する戦略をとるべき状況と考えるが、当社がどのような問題意識を持っているのか説明して欲しい。

A 14. 再構築策の意思決定等により事業構造改善を進めていますが、実際にプラントを停止するまではまだ時間がかかります。現時点では稼働状態のプラントを多く抱えているため、生産維持に必要な修繕費等も引き続き発生しています。当社としては間接部門を含めてコストダウンを進めていますが、人件費や資材費の高騰により修繕費が増加しているため、24年度の固定費他は23年度から悪化する見込みとなっています。

■ 共通

Q 15. 24年度予想の非経常項目について、具体的に織り込んでいる内容について説明して欲しい。

A 15. 停止したプラントの撤去を含めた撤去費等を見込んでいます。

以上